

こんにちは 2017年3月2日 第132号

ちかざわ美樹です

日本共産党 市議会議員活動報告



chikamiki222@gmail.com
☎&fax 042-582-1870
☆自宅:日野市万願寺 6-35-9
カサベルデ 201
☆ちかざわ事務所(三沢中学校のそば)日野市三沢 1-13-5

いつでも、どんなことでもお電話下さい ちかざわ携帯 ☎090-9313-1192

2017年度第1回定例市議会が開会、ぜひ傍聴を

3月1日より市議会が始まります。大坪市長の現在の任期最後の予算を審議します。

今期は、4月に市長選挙がありますので、骨格予算となっていますが、市民への負担増や切り捨てを含む「第5次行革大綱」素案、「公共施設等総合管理計画案」(廃止、統合を含む再編計画案)などを前提にした予算編成です。

どなたでもご自由に傍聴できます。議場は市役所6階にあります。ぜひ足をおはこび下さい。

土日祝日は休会、17、24日は小中学校の卒業式のため休会です。

日程は下記の通りです。会期及び内容が変更になる場合があります

日付	曜日	摘要
1日	水曜	会期の決定、市政運営の基本、行政報告、諸般の報告、議案上程
2日	木曜	一般質問調整日
3日	金曜	一般質問1番から5番
6日	月曜	一般質問6番から10番、請願上程
7日	火曜	一般質問調整日
8日	水曜	一般質問11番から15番
9日	木曜	一般質問16番から19番、議案上程、意見書・決議午後5時締め切り
10日	金曜	調整日
13日	月曜	常任委員会(企画総務)
14日	火曜	常任委員会(民生文教)
15日	水曜	常任委員会(環境まちづくり)
16日	木曜	一般会計予算特別委員会
17日	金曜	休会
21日	火曜	一般会計予算特別委員会
22日	水曜	一般会計予算特別委員会
23日	木曜	特別会計予算特別委員会
24日	金曜	整理日
27日	月曜	まとめ(休会)
28日	火曜	審査報告、議案上程

ごみ広域化計画強行は許されません。白紙にして住民と一からの見直しを!

【日本共産党の無料法律相談】 第1.2.3木曜日予約制です
第1.3木曜日 18:00~20:00 第2木曜日 13:00~15:00



党市議団の一般質問の予定は次の通りです。時間は前後する場合があります。

発言時	質問通告タイトル	発言者	通しの発言順番	質問日の おおよその 日程
3月3日 (金)午後 の1番目	1. まちじゅうの知恵を集めた公契約条例の制定で 地域好循環を	近澤美樹	3番	午前の 1番 10:00
3月6日 (月)午後 の3番目	1. 墜落原因すらわからないオスプレイの横田基地 配備は中止を求めよ 2. 全ての子どもたちの育ちを支えるまちを目指し て、教育無償化、就学援助・奨学金拡充、住宅・就 業支援を	清水登志子	10番	2番 11:00
3月8日 (水)午後 の2番目	1. 無法による暴走は必ず行き詰まる！ ごみ広域化 に伴うごみ収集車の搬入路計画を問う	中野昭人	14番	午後 の 1番 13:00
3月9日 (木)午前 の1番目	1. 市民のくらし・コミュニティを壊す2つの計画(案)は 見直しを！ 第5次行革大綱(素案)と公共施設等総 合管理計画(案)を問う	大高哲史	16番	2番 14:00
3月9日 (木)午後 の1番目	1. 「希望する家庭が必ず保育園に入れるまち」宣言 を！	奥野倫子	18番	3番 15:30

日本共産党演説会 日野から中野あきとを都政へ！

日時：2017年3月12日(日) 14:00~16:00

場所：東部会館3階ホール 市長予定候補がごあいさつ！

おはなしする人：中野あきと市議団長・都議予定候補(右写真)

吉田信夫都議会百条委員会委員・党都議団長、佐藤あや子衆院予定候補、
保育(無料)あります。送迎いたします。ご連絡下さい。



日本共産党発行



日刊●月 3497円
日曜版●月 823円



東京民報は東京がよくわかる週刊新聞、月額400円です。ご連絡いただければすぐに無料宣伝紙をお届けします。市議会・市政報告、いつでもいたします。新しいデザインになった日本共産党の綱領パンフレットをぜひお読み下さい。入党のご相談はいつでも。

いのちがいらばん

50年の歴史をもつ日野市立第三幼稚園の閉園式が行われました。入園希望者が減少しているため第四幼稚園と統合し、民間保育園を開設すると市は説明しました。「公立幼稚園には独自の役割が求められる」と、廃園条例に党市議団は反対しました。閉園式のあいさつで子どもたちを前に市長は「おとなの都合でごめんなさい」と言いました。「おとなの都合」を子どもに押しつけてはなりません。まして幼稚園で子どもに「首相ガンバレ」などと言わせることなどあってはなりません。「子どもの貧困の対策」が言われていますが、子ども自身には何の責任もありません。「社会の都合」の犠牲です。どんな境遇に生まれてもすべての子どもが自分らしく生きられる社会を。



ちかざわ美樹